

●入力項目の説明

動物実験（教育研修）計画申請書

Application for animal experiment protocol (education protocol)

受付番号	申請種類	ステータス	提出日	承認日
	新規	作成中		

既承認済みで有効な計画書と同一の課題名は使わないでください。

ディスカッション【全体】

ディスカッション

概要 Overview

動物実験（教育研修）計画の課題名 Title of animal experiments and related activities															
実験実施予定期間 Scheduled period of animal experiments and related activities	※3年度期間まで申請でき 総長承認日 ~ 2022年3月31日 (最長承認日:2025年3月31日まで更新可) <input type="checkbox"/> 実験の開始に緊急事由を有するため、迅速審査を依頼する														
計画の種類	<input type="radio"/> 動物実験（試験・研究） <input type="radio"/> 教育研修														
動物実験実施者（教育研修講師） Animal experiment researcher (instructor)	<input type="button" value="検索"/> <input type="button" value="グループ選択"/> <table border="1"><thead><tr><th>氏名</th><th>入力権限</th><th>所属部局</th><th>職</th><th>電話番号</th><th>教育訓練受講番号</th><th></th></tr></thead><tbody><tr><td>実験責任者（設置責任者）B</td><td><input checked="" type="checkbox"/></td><td>歯学研究科</td><td>教授</td><td>120-2</td><td>A115</td><td><input type="button" value="削除"/></td></tr></tbody></table> <input type="checkbox"/> 自由入力欄追加	氏名	入力権限	所属部局	職	電話番号	教育訓練受講番号		実験責任者（設置責任者）B	<input checked="" type="checkbox"/>	歯学研究科	教授	120-2	A115	<input type="button" value="削除"/>
氏名	入力権限	所属部局	職	電話番号	教育訓練受講番号										
実験責任者（設置責任者）B	<input checked="" type="checkbox"/>	歯学研究科	教授	120-2	A115	<input type="button" value="削除"/>									
動物実験（教育研修）責任者 Principal investigator (instructor)	※実験責任者は実験内容の管理ができ、計画書の作成ができません。 氏名 所属部局 電話番号 教育訓練受講番号														
連絡者 Person who can be a substitute of the principal investigator (instructor)	※実験責任者が不在の際など、責任者の代りに連絡する者として登録 <input checked="" type="radio"/> 責任者と同じ <input type="radio"/> 連絡者を登録														

計画書の種類を選択してください。

実験実施者を入力するには、検索ボタンから実施者を指定して追加してください。
ユーザー登録で実施者グループを登録しておく、一定のメンバーを一括指定することも可能です。

漢字またはかき(半角)で部分一致検索が可能です。

実験従事者/実験実施者/飼養者/編集者 選択

所属部局	学籍番号	氏名
医学系研究科		

選択

選択	氏名	所属部局	職	教育訓練受講番号
<input checked="" type="checkbox"/>	実験実施者（飼養者）A	医学系研究科	教授	A111
<input type="checkbox"/>	実験責任者（設置責任者）A	医学系研究科	教授	A114

GA·lab^Tohoku University 申請書・報告書検索 実験責任者（設置責任者）

and related activities
計画の種類
Type of application
(animal experiments and related activities)

動物実験実施者（教育研修講師）
Animal experiment researcher (instructor)

動物実験（教育研修）責任者
Principal investigator (instructor)

連絡者
Person who can be a substitute of the principal investigator (instructor)

計画書の作成を開始した人にはデフォルトで入力権限付与されます。作成依頼をする予定の方には入力権限を付与することができます。
【注意!!】複数名に付与した場合、同時に編集を行うと、先にアクセスしたほうの保存が優先されますので、十分ご注意のうえ、必要な方のみ付与するようにしてください。

検索

氏名	入力権限	所属部局	職	電話番号	教育訓練受講番号	
実験責任者（設置責任者） B	<input checked="" type="checkbox"/>	歯学研究科	教授	120-2	A115	削除
実験実施者（飼養者） A	<input type="checkbox"/>	医学系研究科	教授	110-1	A111	削除
実験実施者（飼養者） C	<input checked="" type="checkbox"/>	薬学研究科	教授	110-3	A113	削除

自由入力欄追加

※実験責任者は実験内容の把握・管理ができ、計画書に関する問い合わせに対応できる実験実施者としてください。

氏名: 実験責任者（設置責任者） B 職: 教授
所属部局: 歯学研究科 分野: 歯学
電話番号: 120-2 E-mail:
教育訓練受講番号: A115

計画書の作成を開始した人以外を実験責任者に指定する場合は、まず実験実施者欄に追加してください。実験責任者欄の氏名欄の右端のプルダウンをクリックすると、実験実施者欄の中から**責任者になれる身分***の方を選択することができます。
※教授、准教授、講師、助教、助手、特任教授、特任准教授、特任講師、特任助教

氏名: 選択してください 職:
所属部局: 分野等:
電話番号: E-mail: test@testmail.co.jp
教育訓練受講番号:

※実験責任者が不在の際など、責任者に代わって対応できる実験実施者としてください。
 責任者と同じ 連絡者を登録

実験責任者以外にも連絡を希望する場合には、実験実施者の中から指定することができます。システムからの自動配信メールが責任者と連絡者宛に届きます。

GA·lab^Tohoku University 申請書・報告書検索 実験責任者（設置責任者）

実験（教育研修）の目的と代替法について Purpose, use of alternative methods

ディスカッション

実験（教育研修）の目的（動物実験の必要性、その目的・意義など）
Purpose of animal experiments and related activities

代替法の検討状況
Consideration for the use of alternative methods

動物実験を行う倫理的根拠
Ethical reasons for conducting animal experiments

実験全体の目的や科学的・社会的意義等を記載してください。
申請する動物実験を行う必要性が、一般の方や審査委員に伝わるように記載してください。

検討した 検討していない

丸ごとの動物でのみ生物学的過程やメカニズムを解析できる
 in vitroでの系を実施するため動物の組織が必要である
 in vitroで行われた方法をin vivoに応用するために必要である
 その他

該当するものを選択してください。
その他を選択した場合には具体的内容を入力してください。

実験（教育研修）の実施場所と飼育管理について Location of the laboratory and the facility for care and management

実験（教育研修）の実施場所

共同利用の施設を利用するにはチェックを入れてください。それ以外の飼養保管施設・実験室を使う場合は検索から選択・追加してください。実験室は申請中でも追加可能ですが、飼養保管施設は承認済みでないとい追加することはできません。

飼養保管施設を全く使用しない場合は、その旨を備考欄に明記してください（入力漏れではないことの確認のため）。備考にチェックを入れると、入力欄が開きます。

動物の飼育管理上の注意点など
Precautions for care and management of laboratory animals

該当するものを選択してください。その他を選択した場合には具体的内容を入力してください。

共同利用の飼養保管施設／実験室

- 2015業施-001 飼養保管施設設置テスト11
- 2015歯施-001 飼養保管施設設置テスト6
- 2015歯実-001 動物実験室設置テスト6
- 2015業実-001 動物実験室設置テスト11
- 2015医実-001 動物実験室設置テスト1
- 2015医施-001 飼養保管施設設置テスト1
- 備考

【注意】 実際の利用が可能かどうか（設備機器類、飼育スペースなど）については、各施設に直接確認してください。

検索ボタンから選択・追加できます。ユーザー登録で実験室や飼養保管施設をグループ登録しておくと、一括で追加できます。

グループ選択

その他の飼養保管施設

検索

実験室/保管室 選択

部局	承認番号	実験室名	拡散防止措置
歯学研究科			選択...

検索

部局	承認番号	名称	選択	部局	承認番号	ステータス	実験室名	拡散防止措置の区分
<input type="checkbox"/>		備考（飼育を行わない場合はその旨を記入）						
<input type="checkbox"/>		飼養保管施設と実験室間など、動物を移動する際	<input checked="" type="checkbox"/>	歯学研究科	2015歯施-001	承認済み	飼養保管施設設置テスト6	
<input type="checkbox"/>		その他の実験室		歯学研究科	2015歯施-004	承認済み	飼養保管施設設置テスト9	

追加

ディスカッション

安全管理上注意を要する動物実験について（特殊実験区分） Animal experiments requiring special attention for security management

実験区分 Category of the experiments

特殊実験実施の有無

無 有

特殊実験実施がある場合には、有にチェックを入れてください。

安全管理上注意を要する動物実験について（特殊実験区分） Animal experiments requiring special attention for security management

実験区分 Category of the experiments

特殊実験実施の有無

無 有

- 1.感染実験
 - 安全度分類 ABSL1 ABSL2 ABSL3
- 2.化学発癌・重金属/毒物投与
- 3.非医薬品の投与実験（医薬品グレード以下の薬品、試薬など）
- 4.放射線同位元素・放射線使用実験
- 5.特定動物（人に危害を加える恐れのある危険な動物）
- 6.特定外来生物（日本の生態系に被害を及ぼす又は及ぼすおそれのある外来種）
- 7.麻薬・向精神薬の使用
 - 麻薬の使用 無 有
 - 免許 取得済 申請中（免許取得後に実験を実施することに同意）
 - 麻薬研究者免許を添付してください
- 8.遺伝子組換え実験承認番号（ゲノム編集を含む）
- 9.人を対象とする研究倫理委員会へ申請が必要な実験
 - 承認済 申請中（承認後に実験を実施することに同意）

該当する箇所にチェックをいれてください。

- ・ケタミンの使用があり取得済みの場合は、麻薬研究者免許を添付してください。
- ・遺伝子組換え実験（ゲノム編集を含む）が関連する場合は、検索ボタンから該当する遺伝子組換え実験を選択してください。
- ・遺伝子組換え実験の「申請中の場合は承認後に実験を実施することに同意」にチェックを入れてください。

ファイル名

向精神薬の使用 無 有

検索

承認番号	ステータス	実験責任者	拡散防止措置の区分
<input type="checkbox"/>			申請中の場合は承認後に実験を実施することに同意
<input type="checkbox"/>			拡散防止措置区分 <input type="checkbox"/> 大臣確認実験 <input type="checkbox"/> 特定飼育区分

動物実験（教育研修）の方法、カテゴリ
Methods for animal experiments and related activities

実験番号
Experiment ID

1

実験（教育研修）の概要
Overview of animal experiments and related activities

- 1.給餌制限・給水制限
- 2.材料採取
- 3.試料投与
- 4.麻酔下手術（術後に覚醒せずに安楽死）
- 5.麻酔下手術（術後に覚醒）
- 6.腫瘍移植
- 7.病態モデル
- 8.環境ストレス
- 9.行動観察
- 10.特殊飼育
- 11.拘束
- 12.発生工学・胚操作
- 13.繁殖・飼育工学
- 14.体験学習、講習会、動物の展示

該当するものをすべて選択してください。

実験（教育研修）の方法
Methods for animal experiments and related activities

以下を注意して詳しく記載してください。1000文字まで入力可能です。

- ・3R「Replacement(代替)・Reduction(削減)・Refinement(改善)」に十分配慮した実験内容と実験方法
- ・実験動物への人道的配慮がおこなわれているかどうか分かるよう、具体的手技や条件等を詳しく
- ・時系列に沿って(麻酔・薬剤投与・安楽死などのタイミング、処置や観察の期間など具体的に)
- ・複数の動物種や系統を使用する場合はその理由
- ・初めて行う実験では少数匹で予備実験を行うこと

実験の方法は合計5つまで入力することができます。
【注意1】入力後に実験を削除した場合、実験番号は番号が飛びますが、合計5つまで入力可能であることに変わりはありません。
例)実験1、2、3、4、5を入力後に実験2を削除すると、実験番号は1、3、4、5となり、次に実験を追加するとその番号は6となります。
【注意2】変更申請・申請の際に、既に承認済みの実験を丸ごと削除することはできません。

動物の使用数または繁殖数
Number of laboratory animals (required or bred)

実験番号ごとに、使用する動物種・系統・使用数・繁殖数を記載してください。

※繁殖数について：
マウス・ラットについては記載をお願いします。
(下記動物実験センターHPに掲載の「繁殖用マウス使用匹数算出シート記入例」を参考にしてください)
<http://www.clar.med.tohoku.ac.jp/web.html>

動物種、入手先の順に選択、または入力してください。
登録済みのマスタから対象の系統名を絞り込み選択・追加すると、遺伝子組換え動物の有無、微生物学的保証、動物の特性等の情報が自動表示されます。その他を選択してフリー入力することも可能です。

動物実験（教育研修）の方法、カテゴリ分類と人道的エンドポイントについて
Methods for animal experiments and related activities, category of pain and distress, humane endpoints

動物種
選択...
マウス
ラット
ハムスター
モルモット
ウサギ
イヌ
サル
マーモセット
家畜ブタ
ミニブタ
マイクロブタ

入手先
選択...
検索
検索または入力してください

系統名
検索
検索

微生物学的保証
動物の特性

動物種
マウス
ラット
遺伝子組換え動物
有
匹数
×
輸出根拠

入手先
選択...
検索
日本クレア（株）
日本チャールス・リバー（株）
日本エスエルシー（株）
認定マウス
自家繁殖
譲渡
その他

系統名
検索
検索

系統名または遺伝子型検索

名称
検索

系統名または遺伝子型

選択 名称

- cl:ICR
- C3H/HeJcl
- C3H/HeNcl
- C57BL/6Jcl
- C57BL/6Ncl
- BALB/cAcl
- BALB/cByJcl
- FVB/Ncl
- DBA/2Jcl
- DBA/2Ncl
- 129<+Ter>/SvJcl
- MCH(ICR)/Jcl
- B6C3F1/Jcl
- B6D2F1/Jcl
- BALB/cAcl-nu/nu
- C.B-17/Icr-scld/scldJcl
- NOD/ShiJic-scldJcl
- ALY/Nscld-cl/aly/aly
- KK/Tajcl
- KK-Δ/Tajcl

追加

動物の使用数または繁殖数 Number of laboratory animals (required or bred)	動物種	入手先	系統名
	マウス	日本クレア (株)	Jcl:ICR
	遺伝子組換え動物	微生物学的保証	動物の特性
	<input type="checkbox"/> 有	<input checked="" type="checkbox"/> 有	
	匹数	群数	回数
5 ×	2 ×	3 =	30
算出根拠	1群5匹で投与群コントロール群の計2群、再現性確認のため3回行う		使用動物削除

使用動物追加

算出根拠は、群数の内訳の説明、実験回数の説明が分かるよう記載してください。

動物種や系統を追加できます。実験番号ひとつについて30行まで追加できます。30行を超える場合には、別の実験欄に分けて記載(あるいは計画書を分けて)ください。

想定される苦痛の力 デゴリー Category of pain and distress	<input type="radio"/> A: 生物個体を用いない実験あるいは植物、細菌、原生虫、又は無脊椎動物を用いた実験。発育鶏卵を使用した実験。
	<input type="radio"/> B: 脊椎動物を用い、ほとんど苦痛を与えない実験。保定。経口投与。急性毒性を示さない注射。採血。麻酔下手術(術後に覚醒せずに安楽死)。飼育管理時の安楽死処置。
	<input type="radio"/> C: 軽微なストレスや短時間の痛みを伴う実験。短時間の拘束。免疫接種。麻酔下手術(術後に覚醒する)。代理の母親を与えること。
	<input type="radio"/> D: 重度のストレスや痛みを伴う実験。腫瘍移植。長時間の拘束。攻撃的な行動実験。毒性試験。無麻酔の痛み実験。
	<input type="radio"/> E: 無麻酔下で激しい痛みを与える実験。火傷外傷を引き起こすこと。筋弛緩薬の注射などを用いて、外科的処置を行うこと。重度のストレス。本カテゴリーの実験は禁止です。

該当するものを選択してください。

動物実験センターのHPの「カテゴリ分類一覧表」も参考にしてください。
<http://www.clar.med.tohoku.ac.jp/data/web/security/categories.pdf>

動物の苦痛軽減・排除の方法 Method for minimizing/eliminating pain and distress to laboratory animals	<input type="checkbox"/> 1.短時間の保定・拘束及び注射など、軽微な苦痛の範囲であるため特に処置を講ずる必要は無い
	<input type="checkbox"/> 2.科学上の目的を損なわない苦痛軽減方法は存在せず処置できない
	<input checked="" type="checkbox"/> 3.麻酔薬・鎮痛薬・抗生剤等を使用する
	行追加
	薬剤名 選択...
<input checked="" type="checkbox"/> 4.術後管理	
<input type="checkbox"/> 保温 <input type="checkbox"/> 補液 <input type="checkbox"/> 頻回の観察 <input type="checkbox"/> 特別食の給与	
<input type="checkbox"/> その他	
<input checked="" type="checkbox"/> 5.苦痛・ストレス・QOLを伴う場合、下記の人道的エンドポイントを設定する	
<p>人道的エンドポイントとは、実験動物を実験動物を激しい苦痛から解放するための実験を打ち切るタイミング(安楽死処置を施すタイミング)を指します。実験を継続しても得られる知見より、動物への苦痛が大きいと判断するポイントです。実験内容に応じて、具体的な複数の症状や合理的な数値的指標を挙げてください。実験のエンドポイントとは異なります。動物実験センターHPの「人道的エンドポイントの指標」も参考にしてください。 http://www.clar.med.tohoku.ac.jp/data/web/security/humane.pdf</p>	

投与量の欄では、以下が分かるよう記載してください。
・吸入麻酔:気化器使用の場合→導入何%、維持何%
それ以外(チューブ等)で容量を明確に記載できない場合→「適量+目的(短時間の鎮静、注射麻酔補助等)」等
・注射麻酔:動物の体重当たりの麻酔薬成分の量(mg/kg等)、
東北大学規程記載の(三種混合麻酔等の)標準液を使用する場合は「ml/g」も可。
・複数動物種を使う場合には、それぞれについて別記

該当するものをすべて選択してください。詳細情報が必要なものは入力欄が展開します。

実験終了後の処置 Methods of how to treat laboratory animals after the completion of experiments	<input type="checkbox"/> 安楽死処置 <input type="checkbox"/> 通常の飼育管理に戻す <input type="checkbox"/> 他の実験に供試する(十分な回復期間を設定します)
	<input type="checkbox"/> その他

実験方法の複製・削除 Replication or deletion of this section	上記の内容を複製して追加	この実験方法を削除
	入力した実験方法欄を複製して編集することができます。実験番号は自動で付番されます。	

実験方法の新規追加

実験方法欄を新しく追加してから、入力することもできます。実験番号は自動で付番されます。

【注意!!】間の実験方法を削除すると、実験番号の番号が飛びますが、合計5つまで入力可能であることに変わりはありません。

使用動物について Laboratory animals

使用動物
Species and strain of laboratory animals

使用動物の転記 各実験方法欄で入力した使用動物の情報が集約されます。

動物種	系統名	匹数	遺伝子組換え動物	微生物学的保証	入手先	動物の特性
マウス	Jcl:ICR	30	<input type="checkbox"/> 無	<input checked="" type="checkbox"/> 有	日本クレア(株)	
マウス	NOD.CB17-Prkdc/J	18	<input type="checkbox"/> 無	<input checked="" type="checkbox"/> 有	日本チャールス・リバー(株)	免疫不全動物

当該動物を実験に用いることの正当性
Validity of using above animals

実験用モデル動物として広く認められている
 この動物から得られた膨大な実験データがある
 生理、解剖学的または大きさの面から当該動物が適当である
 その他

使用匹数算出根拠の正当性
Validity of the rationale of the number of laboratory animals required

目的達成のため最低限必要な生物材料を得るために必要な数であるから
 実験成果を統計学的に処理するために最低限必要な数であるから
 その他

該当するものを選択してください(複数可)。

安楽死処置、動物死体の処理について Euthanasia, disposal of carcasses

安楽死処置の方法
Methods of euthanasia

1.麻酔薬等の使用

行追加

薬剤名	投与量	投与経路
選択...		選択...

2.炭酸ガス(高压容器)
 3.中枢破壊による安楽死 頸椎脱臼 断首
 4.その他

安楽死の確認について
 死亡の確認を確実に行います(心肺停止の確認や放血処置など、動物種に合わせた死亡の確認を行います)

動物死体の処理方法
Methods of disposal of carcasses

1.学内で焼却
 2.外部業者に委託
 3.その他

実験終了後の処置で安楽死処置を選択した場合は、安楽死の確認が必須となります。

該当するものを選択してください(複数可)。詳細情報が必要なものは入力欄が展開します。

その他特記事項等(他機関との共同研究、委託実験など)
Special notes

添付ファイル一覧

添付ファイル
Attachments

ファイルをドロップ
 ファイルを選択

ファイル名 削除

申請履歴

動物実験センター宛に、問い合わせなどがある場合には、コメント欄を利用できます。長文になる場合にはメールでの問い合わせをお願いします。
 clar@med.tohoku.ac.jp

履歴	処理	資格	コメント	処理日
コメント				

一連の実験の一部を他の機関で行う場合などは、審査を受けた機関の承認証その他関連資料を添付してください。

